

効果的な施策を展開するための考え方の点検ツール ～地域包括ケアシステムの深化・推進に向けて～

- 2025年を目前に、各地域における地域包括ケアシステムの構築状況が地域それぞれが目指す姿（地域のビジョン）に照らして効果的な施策となっているかの点検が必要である。
- 各施策の主担当者が庁内外の関係者と連携して検討・点検する際に活用できるツールとして、令和3年度に基本的な考え方や枠組みを取りまとめ、令和4年度に全国11の自治体で実証してブラッシュアップを実施。

検討の枠組みと視点

○検討の枠組み

個々の事業の実施状況の評価に留まらず、複数の事業が連動して、上位目標の実現に効果的なものとなっているかを点検する。

例えば、「多くの住民が自分の強みや興味・関心に沿った社会参加の機会を得て、結果的に健康増進や介護予防につながっている」といった視点から、高齢者福祉・介護保険関連の事業だけでなく、庁内関係課の取り組みも洗い出したうえで、施策をより効果的なものとするための視点を提供。

○検討の視点

1. 視点に関する現在の取り組みの洗い出し
2. 視点に関連した目指す姿の振り返り
3. 目指す姿の実現状況の仮評価
4. 解決すべき要因の検討（仮の絞り込み）
5. 知りたいことの洗い出し、利用可能な情報の収集・整理
6. 確認結果を踏まえた今後の取り組みの検討

ツール活用メリット

ツールを活用することで、**主担当だけでなく庁内外関係者とともに情報や課題等を共有・検討しやすくなる**

提供する点検ツールの構成

①点検ツール

- ・記入・編集可能なもの（MS-Excel形式）

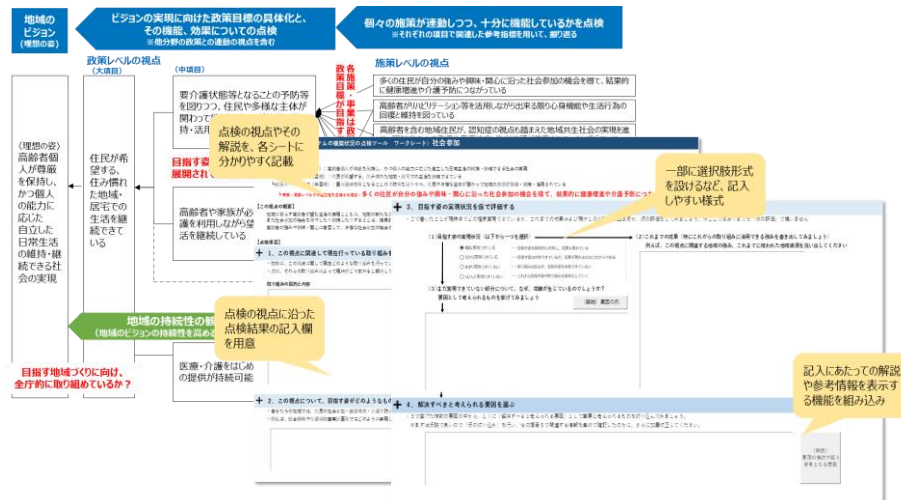
②概要説明資料

- ・本ツールの位置づけや概要等の説明用資料

③活用の手引き

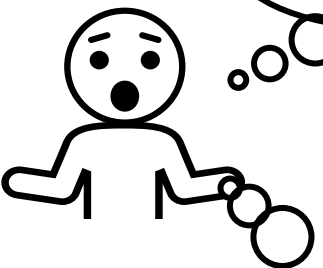
- ・作成担当者向けに記入例や参考となる指標、検討手順の事例等をまとめたもの

点検ツールの画面（抜粋）

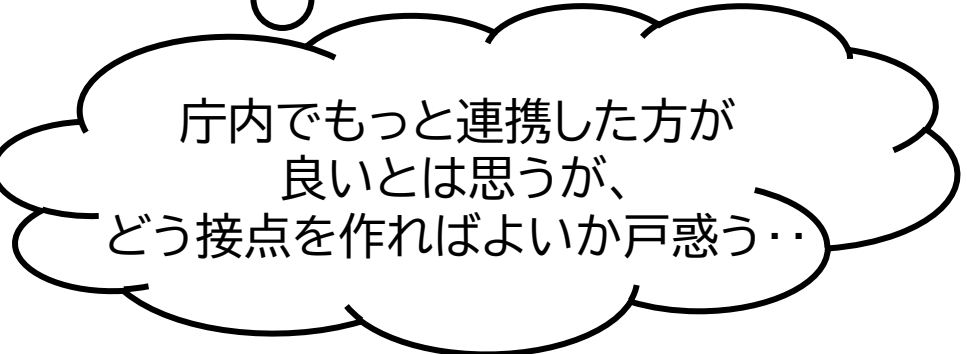


モデル検証でみられた点検の活用効果の一例


- 点検ツールを「使ってみる」ことをきっかけに、普段は接点を持ちにくい庁内外の関係者と話し合いをしたり、引継ぎを受けたばかりの職員が事業の「そもそもの目的」や位置づけを理解が進む効果が見られた。



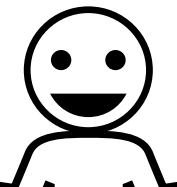
振り返りは必要と思うが、
何から手をつければよいか
検討もつかない…




庁内でもっと連携した方が
良いとは思いますが、
どう接点を作ればよいか戸惑う…



点検ツールをきっかけに、
関係者が集まって、
本質的に何を指すかを
共有できた



「仮の評価」をひとまず
書いてみることで、
課題や成果を整理できた



点検をきっかけに、普段は
声を掛けにくい他部署と
話し合いができた